



●発行/杉並区 ●編集/広報課
〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1
区の代表電話は ☎3312-2111
FAX 3312-9911(広報課直通)
http://www.city.suginami.tokyo.jp/
☎ 3312

広報 すぎなみ

平成16年 2 / 1 NO.1667

特集号

行政評価
行財政改革
(スマートすぎなみ計画)
五つ星の区役所運動

〈発行日〉毎月1日・11日・21日

区政の成果と達成度を 明らかに

～全政策・施策・事務事業に
ついて総合的な評価を
実施しました～

平成11年度にすべての事務事業の点検評価を開始して5年。区では、成果重視の区政への転換、効率的で質の高い行政の実現、説明責任の徹底をめざしてきましたが、今年度は初めてすべての政策・施策・事務事業を対象とする総合的な評価を行いました。速報性を重視して、今回は外部評価委員会の評価に先立ち、区の行った内部評価結果についてお知らせします。問い合わせは、企画課へ。



区役所屋上より

15年度は、六つに分けた行政分野で、それに連なる二三政策、七八施策と八八九の事務事業について評価を行いました。

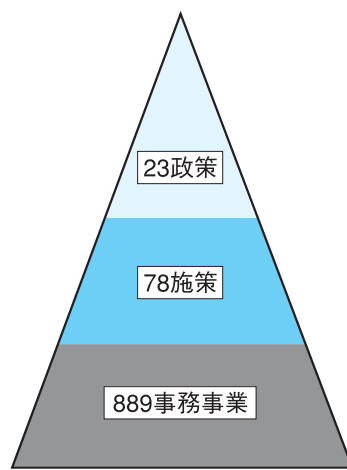
政策・施策評価では、それぞれを取り巻く社会経済情勢や政策・施策の果たすべき役割、目的などを踏まえながら、目標をできるだけ数値化して設定しました。これらに評価すること、今後の方向性や課題、関連する事務事業の見直し

や効率化を進めていく上で有効な手段となります。

(1) 政策評価
総事業費は一九四九億円となり、前年度と比較すると約五五億円、率で2.8%の減となりました。今年度は初めて全政策を評価しましたが、一三施策については成果目標を数値で設定できました(56.5%)。客観性を高めていくためにも、引き続き分かりやすい

行政評価の実施状況

【図1】行政評価の三層構造のイメージ



行政評価は、行政が行った事業の単なる結果だけでなく、それによってどのような効果が生み出されたのかという観点に立つて区政を評価するものです。

区では、11年度から事務事業評価を実施しています。14年度は一部の政策および施策についても評価を試行するなど、総合的な行政評価制度の確立に向けて取り組んできました。15年度は更に対象を広げ、基本

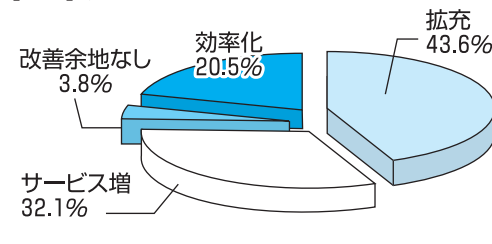
計画」の中で体系化されている政策・施策・事務事業のすべてについて評価を行いました。この政策・施策・事務事業はそれぞれが目的と手段という関連性を持っています。政策を構成する施策があり、その施策を構成する事務事業があるというようにお互いに密接な関係にあります。この三階層により区政全般を総合的に評価することとしています。(図1)

行政評価の取り組み

<参考>

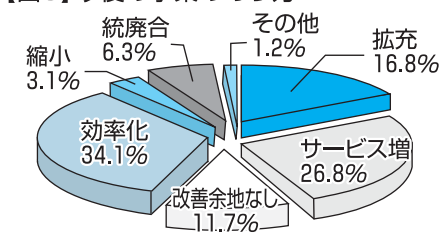
	成果増	成果維持	成果減
コスト増	① 拡充	-	-
コスト維持	② サービス増	③ 改善余地なし	-
コスト減	-	④ 効率化	⑤ 縮小/統廃合

【図2】今後の施策の方向



(2) 施策評価
今後の方向性を「成果」面から見た場合に、成果増である「拡充」「サービス増」の施策は、合わせて75.7%となっています(図2)。一方、「コスト」面から見た場合に、コストを維持しつつ成果を増やす「サービス増」の施策と、成果を維持してコスト減を図る「効率化」の施策を合わせると、五割以上が費用対効果を高める施策となっています。

【図3】今後の事業のあり方



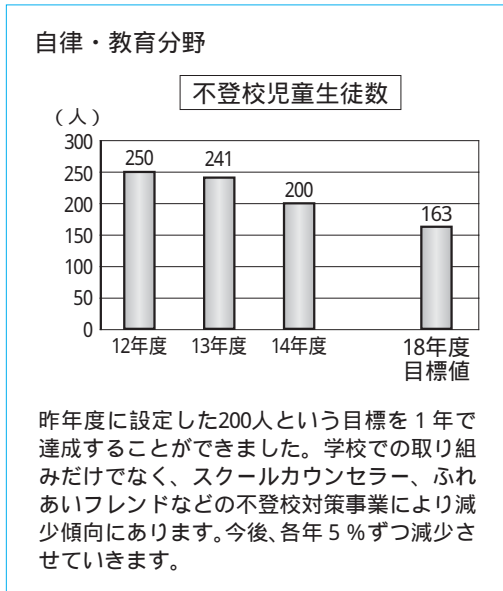
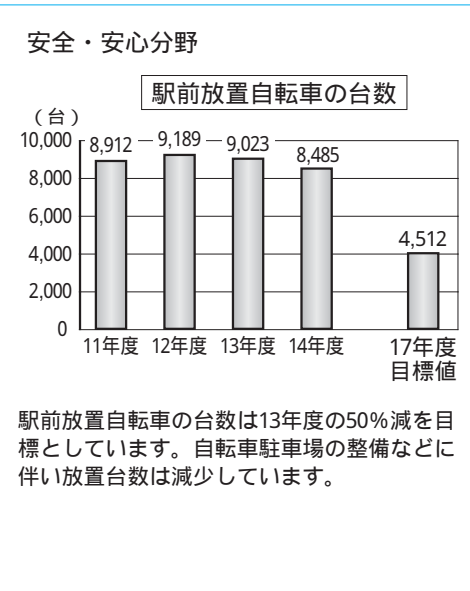
(3) 事務事業評価
より分かりやすい単位となるように評価対象の整理を進めた結果、初めて事務事業評価を行った11年度の一二三事業と比較して三三三事業を整理統合しました。

今後の事業のあり方としては、「拡充」「サービス増」(43.6%)と「効率化」「縮小」「統廃合」(43.5%)に大きく二分されています(図3)。また、「サービス増」や「効率化」の方向の事業が60.9%と、費用対効果を高める評価となっています。

① 拡充 = コストを更に投資することにより、成果を向上。② サービス増 = コスト維持のまま、効率化や手法転換等により成果を向上。③ 改善余地なし = コスト、成果ともに現状維持。④ 効率化 = コスト削減の一方、効率化や手法転換等により、現状成果を維持。⑤ 縮小/統廃合 = コスト削減による縮小/事業見直しによる廃止または統合。

2 / 3面に続きます

【図4】主な指標の状況



区政に関連が深いと考えられる事項に関する現在の状況を数値により表したものです。区民アンケートなどを基に身近な生活環境の中から区民の関心が高いと考えられるものについて、六分野三〇項目を一覧にしました。(下表)

中には犯罪、放置自転車、ごみの排出量、リサイクル、生きがい、まちの魅力、ボランティアなど、区の取り組みだけでは解決することが困難な項目も数多く含まれています。区民・事業者・行政が一体となって取り組むべきです。

今後、他の自治体との比較や中・長期的な数値の変化を客観的に把握することにより、現在の区の置かれている状況を明らかにし、今後の区政のめざすべき方向性の指針としていきます。

三〇項目のうち、今年度から数値を算出した三項目を除き、前年度(または直近の年度)と比較して数値が好転している項目が七項目と順調な滑り出しとなっています。(図4)

杉並区政チェックリスト
(政策指標)

杉並区政チェックリスト一覧

分野	杉並区政チェックリスト	単位	指標値			目標値	目標年度	指標の変化の状況(分析)
			12年度	13年度	14年度			
安全・安心	犯罪発生率	件/万人	175.4	208.8	218.5	毎年減	17	犯罪発生率は全国の傾向と同様に増加している。杉並区が安全・安心なまちと思う区民の割合も若干減少しているが、安全パトロール隊の設立や防犯カメラの設置および利用基準に関する条例の制定に向けた検討などにより、安全・安心なまちづくりに向けた対応を進めている。
	駅前放置自転車の台数	台	9189	9023	8485	4512	17	
	狭あい道路を整備した率	%	14.0	15.2	16.3	20.0	17	
	杉並区が安全・安心なまちと思う区民の割合	%	-	58.4	57.7	毎年増	17	
	交通事故死傷者数比率	件/万人	83	79	77	毎年5%減	17	
みどり・環境	杉並区の大気の状態(窒素酸化物の濃度)	ppm	0.038	0.042	0.042	0.03	22	14年度に改定した環境基本計画の中で、環境先進都市の創造に向けた区民・事業者・行政の協働により実行する取り組みとして「4つの挑戦」と「5つの基本目標」を掲げている。ここでは、1人1日あたりのごみ量の13年度比40%削減などの数値目標や目標達成年次を定めている。杉並区が美しいと思う区民の割合は目標を前倒しで達成することができた。今後もこの水準を維持できるように努めていく。
	区民1人あたりのごみ排出量	g/日	734	715	699	429(現状の40%減)	24	
	リサイクル率	%	18.5	19.6	18.8	43.0	24	
	公共施設の緑化面積	ha	-	-	26.16	増大させる	-	
	杉並区が美しいと思う区民の割合	%	-	29.1	63.6	60.0	22	
健康・福祉	国民健康保険1人あたり医療費	円	15万9330	16万1496	15万9555	減少させる	19	特養ホームには過去最高の420名が入所したが、介護保険開始後の入所希望者の急増により、平均待機期間は延伸した。必要性の高い要介護高齢者が優先的に入所できる仕組みを導入するとともに、他の入所型介護施設を含め施設整備を総合的に推進している。保育園待機児童数は、入所定員数を14年度中に43人分拡大したものの、対象者増および保育需要の増加の影響を受けて増となった。今後も多様な手法で保育サービスを拡充する。
	公共施設バリアフリー度	%	-	36.3	36.9	上昇させる	19	
	特別養護老人ホーム入所者平均待機期間	月	-	1年4カ月	1年8カ月	1年以内	19	
	高齢者で生きがいを感じている人の割合	%	-	70.4	77.5	80以上	19	
	保育園待機児童数	人	125	120	178	低くする	19	
産業経済・区民生活	高齢者の就労率	%	(31.3)	34.3	(34.3)	-	-	商店街の活性化度は、前回調査を行った11年度と比べ、雇用環境の悪化による従業員数の減少により、総売上額が減少したにもかかわらず、相対的に1人あたり売上額が増加傾向にある。元気・活力の創出に向け、新しい産業の育成・支援やNPO・ボランティアが活動しやすい環境整備などを進めているが、長引く景気低迷の影響などもあり、直接的には指標の大幅な改善に結びついていない。
	商店街の活性化度(従業員1人あたりの売上高)	百万円	(31.8)	(31.8)	32.3	増加させる	19	
	みどりの産業事業所数(農業を含む)	所	2万2043	2万2040	2万2383	増加させる	19	
	若者に対するまちの魅力度	%	-	81.3	81.4	上昇させる	19	
	課税所得の平均値	千円	4598	4801	4813	増加させる	19	
自律・教育	児童生徒の学力レベル(学習定着度)	%	-	-	81.7	83.0	18	児童生徒の学習定着度は81.7%であるが、今後は、学習指導方法の創意工夫により、基礎的・基本的な学力の定着に向けて取り組み、上昇をめざす。ボランティアに参加したことがある区民の割合は、13年度に対して約2%減少したが、今後は大人の学びを実践につなげる「杉並コミュニティカレッジ」などの施策を通じてボランティア活動に参加する区民の増加が期待される。
	ボランティアに参加したことがある区民の割合	%	-	24.0	21.7	高くする	18	
	不登校児童生徒数	人	250	241	200	163	18	
	いじめや仲間はずれがなく生活していると感じている子どもの割合	%	-	-	73	高くする	18	
	区民1人あたりの文化的生活時間(上段:平日、下段:休日)	時間	-	2時間19分 3時間41分	1時間31分 1時間58分	長くする	18	
区政経営	区民1人あたりの行政コスト	円	29万0143	26万9577	25万8530	-	-	区民1人あたりの行政コストは、区内人口がおおむね横ばい傾向にある中で、歳出を抑制した予算編成が続いていることを反映して減少傾向にある。区民1人あたりの区の負債額は、区債発行額の抑制に努めた結果、12年度に比較して約15%減少している。歳出削減やその他財源の確保により区債の発行を計画的に抑制した効果が表れている。
	区民の区政満足度	%	-	41.6	67.6	75.0	17	
	杉並区を住みよいと感じている区民の割合	%	-	92.8	92.2	95.0	17	
	職員のやる気指数	%	-	80.4	84.6	90.0	17	
	区民1人あたりの区の負債額	円	17万8203	16万2482	15万0720	低くする	17	

① 指標値で、()書きのものは、区民意向調査の設問内容に変更があり、参考数値として掲載。
② 指標値で、()書きのものは、当該年度の数値ではなく、前の数値で直近のものを掲載。